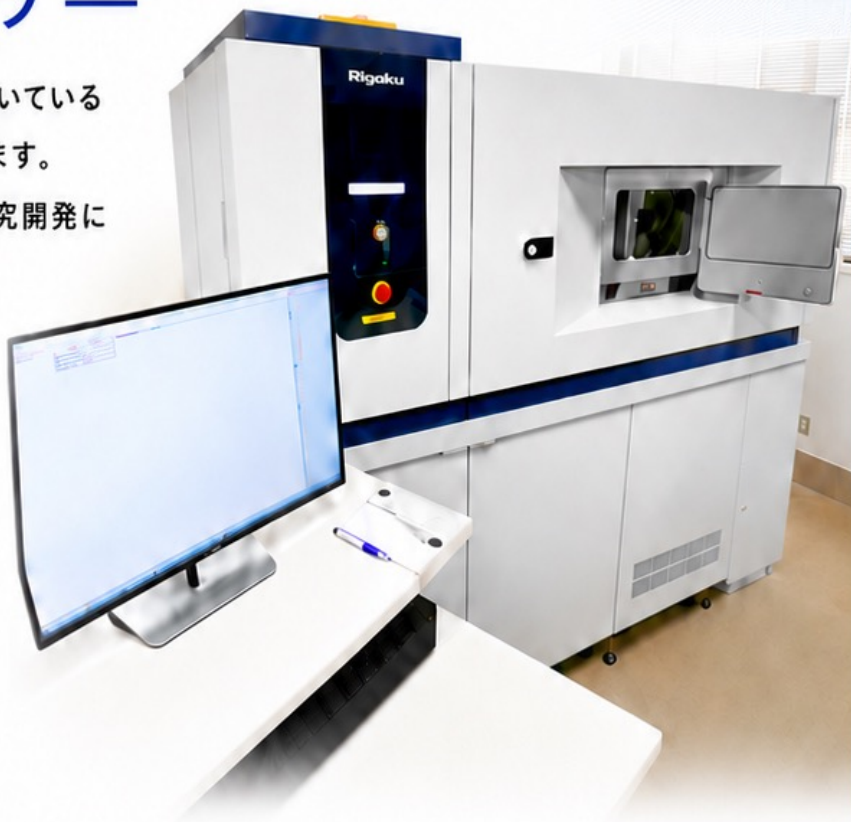


電子密度トポグラフィー技術搭載 X線溶液散乱測定装置利用者懇談会

— 第1回ワークショップ —


本装置は、タンパク質やウイルスが溶液中で動いている状態を、凍結せずに3次元で捉えることができます。創薬や構造解析の高度化を支え、次世代の研究開発に貢献することが期待されています。





利用者懇談会とは


- 利用を通じて得られる知見を産学官で共有
- 研究開発支援や技術移転の促進
- 技術ロードマップの策定と装置の安定的運用に貢献
- 測定結果の解説、最新の測定メニュー・運用情報の提供
- ワークショップ、講演、個別相談を通じた利用者関連携の推進


開催概要


 日時：2026年6月22日(月) 14:00~17:00

 場所：大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス C10棟512室

 主催：電子密度トポグラフィー技術搭載
X線溶液散乱測定装置利用者懇談会

 共催：大阪公立大学大学院創薬科学研究科

 技術協力：株式会社リガク

 参加費：無料

プログラム

14:00~14:10 挨拶 木下 誉富 (大阪公立大学大学院創薬科学研究科)

14:10~15:10 「放射光を利用したBioSAXS解析」
清水 伸隆 (理化学研究所 放射光科学研究センター
グループディレクター)

15:10~15:20 休憩

15:20~16:00 「利用者懇談会が推進するマシINSTAディー」
木下 誉富 (大阪公立大学大学院創薬科学研究科)

16:00~16:30 「EDTへの分子モデリング」
川端 凌弥 (大阪公立大学大学院創薬科学研究科)

16:30~17:00 EDT関連トピックス (株式会社リガク)

意見交換会 (立食形式)

大阪公立大学中百舌鳥キャンパス (詳細な場所は当日ご案内いたします)
現地でお1人当たり3,000円頂戴いたします。
(現金で、お釣りの無いようにご協力のほど
お願いいたします)
※プログラムには含まれません

17:00~18:00

参加申込・詳細

参加申込に関する詳細は
別途ご案内いたします。

申込期限：6/15(月)

※定員に達し次第締め切り



参加対象者

当該装置の利用に関心のある研究者、技術職員、
企業関係者、産学官連携に
関心のある方



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

